

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アレグロ					公表日	令和8年2月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	机上や運動等目的に応じた活動が行えるようにそれぞれのスペースを確保している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用人数や子供の発達状況や特性に応じた職員配置になっている			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	運動と机上の部屋がわかれており切り替えが視覚的にもわかりやすいようになっている。階段がある為バリアフリーではない			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	活動内容に合わせた空間を作り、療育後には消毒と掃除を徹底している			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	活動する場所とは別の部屋にて個別対応ができるようにしている			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	利用者の状況や支援について、定例会を実施し、情報共有や振り返りを行っている その都度話もっている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者へのアンケートを実施し、その内容を基に業務改善に努めている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員間の話し合いを定期的に設けていたり、その都度意見交換を行っている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	併設しているクリニックと連携しながら、評価に基づいた改善を行っている			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	全職員を対象とした研修やそれぞれの分野に合わせた研修へ参加する機会があり、それぞれの資質向上に努めている			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	担当者会議等関係機関や保護者から得た情報や思いを尊重したプログラムを作成している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	保護者からの聞き取りやお子様との関わりの中からアセスメントを行い、本人や保護者の意向に合わせた計画づくりを行っている			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	普段の様子や担当者会議での内容を全職員で共有し、今後の支援の在り方を話し合っ計画書を作成している			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	作成された計画書のもと、どのような支援が適切なかを職員間で話し合いながら支援に入るようにしている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	日々の行動観察などから得た情報を同じフォーマットにまとめたり、話し合いを行いながら共有し、全職員がいつでも確認できるようにしている			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	お子様の強みを活かして段階的に課題に取り組めるような支援内容を設定している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	朝礼等で職員間で共有し、意見を出し合いながらプログラムを立案している			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	計画書やこれまでの支援内容を把握し、遊びを展開させながらプログラムをたて、固定化しないようにしている。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	困りを把握し、個別活動で集中して課題に取り組む時間と集団活動で他児と関わる時間を設けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	ミーティングを行い、活動内容や役割分担、子どもの情報を共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	その日の子供の様子や支援内容が共有できるよう、記録システムのメモ欄を使用し、その内容を踏まえ次の支援に繋げている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	毎日その日の利用全員の記録を行い、抜けがないように内容を確認している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	支援計画のみならず、アセスメントシート等も定期的に見直し、スタッフ間で共通認識をもって取り組める仕組みを整えている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	療育を行う職員間で情報をまとめ、児童発達支援管理責任者が参加している。今後もこまめな情報共有を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	関係機関との情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	関係機関との情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	関係機関との情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	2	センターとの連携は実施できていない。	今後検討していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	交流の機会はないが事業所内で子ども同士で関わる機会はある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	支援内容を保護者にメールで送っている。保護者の送迎や園への引き渡しでも情報共有を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	事業所内ではおこなっていない。	今後検討していく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	管理者より説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	子どもの意向と保護者の意向を伺った後作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	モニタリングの際に、保護者と支援内容について確認し、同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	面談やメール、電話でのやり取りの際に保護者からの相談等があればその都度対応している	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	現在保護者の交流の場は設けていません	検討中です
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	申し入れがあった際には、面談やメールに、電話で迅速な対応に努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	行事がある際には、保護者にメールや配布物等でお知らせしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	鍵のかかる建物で保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	声掛けだけでなく、絵カード等の視覚的にわかりやすいものを用いて、工夫しながら対応している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	問い合わせがあった際、前向きな検討をし、迅速に対応していく	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	全職員に共有し、事業所内の職員の目に入る場所に保管している
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	3ヶ月に1回実施している	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	担当者会議やアセスメント、面談の際に把握し、全職員で共有している	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	保護者に記入していただいたアレルギー表に基づき対応している	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	常に子供の日々の様子を職員間で共有し、特性に合わせた対応策を考え、活動や送迎時に役立てている	
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	契約時に児童発達支援責任者より、説明を行っている	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットがある都度、職員間で共有し今後の対応について検討している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	事業所内や関係機関とともに研修を行い、適切な対応を周知している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	支援計画書にも記載しており、保護者の承諾のもとサインをいただいている		